リハビリテーション科学研究法特講

［講義］　第１学年　前期　必修　1単位

《担当者名》〇小島 悟　skojima@hoku-iryo-u.ac.jp、本家寿洋　山口明彦　浅野雅子　太田 亨　下村敦司　田村　至　大須田祐亮

【概　要】
３つの研究分野（生体構造機能・病態解析学分野、リハビリテーション治療学分野、地域健康生活支援学分野）における様々な理論や研究課題等の研究動向について学ぶ。

【学修目標】
自らの研究計画に発展させるために、３つの研究分野（生体構造機能・病態解析学分野、リハビリテーション治療学分野、地域健康生活支援学分野）における様々な理論や研究課題等の研究動向を理解できる。
1．各研究分野における研究トピックについて理解できる。
2．各研究分野の諸理論や研究方法について学習し、リハビリテーション科学領域における諸問題の解決に向けた議論をすることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1〜4	生体構造機能・病態解析学分野における研究動向	生体構造機能・病態解析学分野における研究動向を文献レビューを通して検討する。	小島 悟　本家寿洋 山口明彦　太田亨
5-7	リハビリテーション治療学分野における研究動向	リハビリテーション治療学分野における研究動向を文献レビューを通して検討する。	浅野雅子　下村敦司 大須田祐亮
8	地域健康生活支援学分野における研究動向	地域健康生活支援学分野における研究動向を文献レビューを通して検討する。	田村至

【授業実施形態】
面接授業と遠隔授業の併用
※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】
授業中のディスカッション20%、レポート80%で評価する。

【教科書】
使用しない。

【参考書】
授業中に適宜紹介する。

【学修の準備】
事前に指定された文献を読んで理解をしておくこと（80分）。
授業時に紹介された文献を読み、学習を深めること（80分）。

【実務経験】
小島 悟（理学療法士）　本家寿洋（作業療法士）　浅野雅子（作業療法士）　田村至（言語聴覚士）　太田 亨（医師）　大須田祐亮（理学療法士）

【実務経験を活かした教育内容】
実務経験を活かし、リハビリテーション科学領域における研究トピックや諸問題について講義する。